

令和6年度 つくば国際大学東風高等学校自己評価表

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度への主な課題
理科	1 学習意欲を高める。	(1) 知的好奇心や探求心を持たせるため、目的意識を持って観察・実験を行う。 (2) 教科書、教科書傍用問題集を主に使い、予習復習がしやすいようにする。 (3) 電子黒板や動画を用いて視覚にうったえた授業を展開する。	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験を引き続き行い、探求心を養っていく。また、iPadや電子黒板を用いた授業を展開し視覚にうったえる授業をする。</li> <li>・自分の意見を分かりやすく他者に伝えられるようにするため、レポートの作成を行い発表させる。(ロイロノートの活用も積極的に行っていく。)</li> <li>・各単元で確認テストを行い、学力の定着を図る。また、iPadを用いて知識・理解を向上させる。</li> <li>・生徒達が自分の進路に合った課外を受講できるよう、基礎から応用までの講座を設ける。</li> </ul>
	2 思考力・表現力を高める。	(1) 人前で発表するのが苦手な生徒が多いので、ロイロノートを使い意見の共有を行う。 (2) 演示などの実験を通じ、レポート作成をさせる。他者の意見を聞いて新しい考えに気付いたり、自分の考えを再確認したりしながら、自分の意見を他者に分かりやすく伝えられるようにする。 (3) 発表など能動的な授業態度を評価していく。	A		

	3 知識・理解の定着を図る。	(1) 単元ごとの小テストを実施し、学力の定着に努める。 (2) 定期考査対策として教科書傍用問題集や、スタディーサプリを活用し、知識・理解の定着を図る。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験対策として、推薦・総合型入試対策を企画する。</li> </ul>
	4 進路希望に応じた指導をする。	(1) 課外を実施し、受験に向けた基礎から応用までの指導をする。 (2) 受験対策として、レポート制作を取り入れ、推薦・総合型入試対策を企画する。	B	